

あきた労福協

2022年3月1日

No.144

発行所／秋田県労働福祉協議会
 発行責任者 高橋暢嘉
 秋田市中通6丁目7-36 フォーラムアキタ内
 TEL: 018-833-1875・FAX: 833-0506
 ホームページ <http://akita.rofuku.net/>

2022年度 「勤労者福祉の拡充・強化に関する要請書」を県に提示

1月24日（月）地方の課題や県労福協・福祉団体の要求をとりまとめた「勤労者・県民に関する福祉政策制度要請」を秋田県へ提示した。県側は佐藤産業労働部長他2名、秋田県労福協は才村会長他4名が出席した。高橋事務局長より要請の詳細内容を説明。

才村会長から「コロナによる生活・雇用への影響が長期化している。

生活困窮者・子供たちの貧困対策など、福祉政策の拡充に向けて協力をお願いしたい」と述べ県政への反映を求める。要請に対する県からの回答は3月末を予定している。

要請内容

- SDGs(持続可能)な開発目標の達成と協同組合の促進・支援
- 大規模災害の被災者支援と復興・再生および防災・減災対策の強化
- 格差の是正・貧困のない社会に向けたセーフティネットの強化
- 暮らしの総合支援(ライフサポート)事業・運営への協力について
- 消費者政策・教育の充実・強化

佐藤産業労働部長へ要請書
を手渡す才村会長(左)



要請説明をする高橋事務局長(右前)



加入していますか？自転車損害賠償保険 今年4月より義務化



1月19日（水）労福協構成団体のこくみん共済 coop は自転車条例に関する協定締結式を秋田県庁で行った。秋田県の自転車条例は令和3年8月1日より施行されている。それに伴い令和4年4月1日より自転車損害賠償保険(共済)の加入が義務化となる。こくみん共済 coop は共済ショップにポスターを掲示するなどして条例の周知に取り組む。自転車事故の加害者になると高額な損害賠償になるケースもある事から、安心した自転車生活を送るために「自転車損害賠償保険(共済)」へ加入しましょう。



家で眠っている食料品ありませんか？

第8回フードドライブ キャンペーン



秋田労福協は、第8回フードドライブキャンペーン活動を2月14日～25日に開催した。食料品集めはもちろんのこと、活動の周知も兼ねている。1人でも多くの「食料を必要としている方」へ届けるため、他人事とは思わず興味を持って引き続き参加・ご協力をお願いしたい。

提供していただいた食料品は、秋田労福協より食料品支援を行っている「フードバンクあきた」と「秋田たすけあいネットあゆむ」に寄贈する予定である。

ライフサポートセンターあきた Q&A 「隣のアパートからの落雪による被害」

Q 今年は例年になく大雪となっている。

自分の家の隣にはアパートがあり、アパートの屋根からの落雪が敷地内に落ちてくる。日中は仕事をしているため、常に除雪はできない。そのため、境界にある塀が壊れかけている。

アパートは、現在入居者がなく空き家となっており、持ち主が不明である。このような場合何処に相談すれば良いのか。



A 市役所内に市民相談センターがあるので、そこへ相談してみると良い。市役所から、アパートの持ち主へ、除雪・屋根の雪下ろしをするよう指導してもらう。または、不動産会社に相談して持ち主を探してもらい、屋根の雪下ろしをするよう要請してもらうこともできる。塀が壊れたのであれば、損害賠償を請求できる場合もあるのでその点についても相談すると良い。



✿「市民サービスセンター」は、支所の機能（行政サービス）と公の施設（市民利用施設）の機能を併せ持つ施設であり各地域に設置されています。

生活応援バンク
あうきん

ためる、かりる、ふやす。
相談できるって、心強い。

東北労働金庫
秋田県本部

TEL 0120-1919-62
(受付時間：平日 午前9時～午後5時)
<http://www.tohoku-fokin.or.jp>

05218007 こくみん共済 NEWS

地震等への備えは火災共済に加えて、
自然災害共済への加入が必要です。
「もしも」に備えて大切なお住まいを守るご準備を。

地震などのとき

最高保障額
1,800万円

*上記は火災共済・自然災害共済(大型タイプ)に600口加入した場合の最高保障額です。

こくみん共済(全労済)
秋田推進本部
(秋田県労働者共済生活困難組合)
TEL 018-824-6031 秋田市泉苔野1-1-12

「こくみん共済 coop」は貯蓄目的としない保険の生産として共済事業を営み、相互通勤の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この組合に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済会員の組合員になることで各種共済制度をご利用いただけます。

編集後記

今年は例年に無いほどの大雪で、高く積まれた雪に轍も多く運転する側も、歩く側も怖い思いをする事が多かった冬となりました。3月に入り暖かい日も増え、出かけやすい季節になってきました。依然コロナウィルスは終息していないものの、3回目ワクチン接種の開始や5歳以上からの接種が進み、終息の兆しが見えてきたのではないかと思いたいです。雪が解ける頃には、マスク生活に別れを告げ花々が咲く季節を満喫したいものです。(G.N)

